



北海道ファミリーハウス

— NPO法人 —

北海道

ファミリーハウス通信

2014年7月25日発行/No.14

発行: NPO法人北海道ファミリーハウス  
責任者: 理事・事務局長 大西 可奈  
060-0807札幌市中央区北7条西6丁目  
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/



総会の様子

## 第七回 通常総会ひらく

五月二十四日 かでる27

「いよいよ」

皆様には日頃からファミリーハウス運動に対しご理解、ご支援を賜り

まして心からお礼申し上げます。

この一年間、会員やボランティアの皆様をはじめ多くの方々にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

この一年間の利用実績を見ると、比較的安価なホテル利用へと変化していることがさらに顕著になりました。これは金銭的負担に加え、プライバシーに対する意識の変化があると考えています。

このような状況にあっても、私たちの運動が、患者さんや家族にとって金銭的な負担の低減や不慣れな土地での治療という精神的な負担の低減にお役に立ち、ますます大きな運動にしていくと言う原点に変わりはありません。

この一年間の活動を振り返りながら、頂戴したご意見などを次年度に生かして参りたいと考えております。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■第七回通常総会 五月二十四日(土)

五月二十四日、札幌市かでる27において「第七回通常総会」を開催しました。

総会では、二〇一三年度事業報告、収支決算および監査報告を行い、報告どおり承認されました。

引き続き、二〇一四年度の事業計画・予算・役員について審議の結果、提案どおり決定されました。

### ■二〇一四年度事業・活動計画

#### 一. 事業実施の方針

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を経済的並びに精神的に支援する活動を行っていきます。

#### 二. 特定非営利活動に係る事業

##### (一) 援助及び支援活動

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者

家族）を支援するために、病院の隣接地区にあるファミリーハウス（賃貸住宅や宿泊施設等）の情報を提供し、ニーズに合わせ円滑な利用が図れるよう活動を行っていきます。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子ども笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。

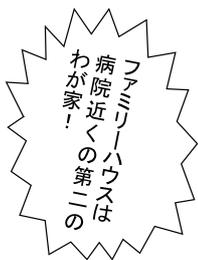
○治療に専念する子どもたちの希望に繋がる活動として、「そらぷちキッズキャンプ」を支援します。

##### (二) ファミリーハウスの設置及び運営

滞在施設を独自に開設し、運営できるように活動を強化していきます。また、道内の医療機関から紹介を受けて、道外の高度専門医療機関で治療を受ける患者家族に対しても、その地域のファミリーハウス紹介などの支援を行います。

##### (三) 道民に理解を求める広報

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って、入院治療を受ける患者と小児がん等難病の子どもたち及びその家族の現状についてPRする活動を行います。



★NPO法人北海道ファミリーハウスホームページ

<http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/>

※定時総会終了後、法務局・札幌市などへの手続きを終えております。

ファミリーハウスの利用実績 ホテル利用：7,368日、オーナー物件：350日（H25.4.1～H26.3.31）

二〇一三年度 事業報告

一、特定非営利活動に係わる事業

(一) 援助および支援活動

①入院して治療を受けている子どもたちの笑顔作りの活動として、病院内で「人形劇」を上演し、子どもと家族を招待しました。



「人形劇」

十月二日 「人形劇」  
北大病院体育館

十二月四日 「クリスマス」  
北大病院プレイルーム



クリスマスプレゼント(木のツリー)

(小児科)

(二) 道民に理解を求める広報活動

あらゆる広報媒体を通じて、道民に広くPRする活動を行いました。

① ホームページやガイドブックを活用し、活動内容とファミリーハウス施設情報を提供しました。

② パンフレットを活用し、活動内容のPRを行いました。

③ PRチラシを各種イベントや病院などで配布しました。

④ 「NPOファミリーハウス通信」を発行(二〇〇〇部×二回)し、活動の状況などを紹介して運動への理解と支援に結びつける取り組みをしました。

会員数 (H26. 3. 31現在)

正会員	19名
賛助会員	2,562名
法人会員	6社

平成26年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書  
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	備考
<b>I 収入の部</b>		
1会費収入	100,000	個人、法人
2賛助金収入	2,400,000	個人、法人
3助成金収入	0	
4寄付金収入	0	
5事業収入	0	
6雑収入	0	
当期収入合計(A)	2,500,000	
<b>II 支出の部</b>		
1事業費	1,800,000	
(1)援助及び支援活動	1,250,000	通信費、交通費、他団体支援など
(2)ファミリーハウスの設置及び運営	300,000	ガイドブック、未就学児利用料補助など
(3)道民に理解を求める広報	250,000	会報紙、HP管理など
2管理費	700,000	
当期支出合計(B)	2,500,000	
当期収支差額(A)-(B)	0	

その他事業  
なし

平成25年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支報告書  
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	備考
<b>I 収入の部</b>		
1会費収入	97,000	個人、法人
2賛助金収入	2,622,000	個人、法人
3助成金収入	125,000	札幌信金社会福祉基金、赤い羽根
4寄付金収入	20,000	我汝会さっぽろ、(株)オール
5事業収入	0	
6雑収入	1,574	利息
当期収入合計(A)	2,865,574	
<b>II 支出の部</b>		
1事業費	1,286,332	
(1)援助及び支援活動	987,442	交通費、行事費、そらぷち支援など
(2)ファミリーハウスの設置及び運営	177,090	ガイドブック、パンフレット印刷
(3)道民に理解を求める広報	121,800	ファミリーハウス通信、広告費
2管理費	661,909	
当期支出合計(B)	1,948,241	
当期収支差額(A)-(B)	917,333	次期繰越額

その他事業  
なし

そらぷちフェスティバル 2014 夏に参加

滝川市



寄贈にあたり挨拶する南谷理事長

七月六日(日)そらぷちキッズキャンプで開かれた「そらぷちフェスティバル」に参加しました。今回の催しは、日頃の感謝と活動十周年を記念して行われ、多くの皆さんが楽しい一日を過ごしました。このイベントに合わせ、木製の建物案内板を寄贈しました。



理事長 南谷 晴之

理事長 南谷 晴之(再)  
副理事長 金田 耕二(再)  
理事・事務局長 大西 可奈(再)



二〇一三年度 助成金・ご寄付

ファミリーハウス運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

■助成金(敬称略)

北海道共同募金会 七万五千元

札幌信用金庫社会福祉基金 五万円

■ご寄付(敬称略)

我汝会さっぽろ病院 一万円

株式会社オール 一万円

二〇一四年度 第一回理事会を開催

第一回理事会を開催し左記のとおり選任しました。

そらぷちキッズキャンプ(公益財団法人) <http://www.solaputi.jp/>

病気とたたかう子どもたちに夢のキャンプを行うため、日本ではじめて医療施設を完備し、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設け、自然の中で病気のことを忘れ笑顔で楽しいひとときを過ごすことを目的としています。